

みんなあそぶ!展

2006-2012

● みんなであそぶプログラム

毎日実施 10:00-16:00

6年間でいったさまざまな遊びから、人気のあった遊び、特徴的な遊びを選びました。2週間ごとにプログラムが変わります。まずは自分の「あそびのりれきしょ」をつくりまわす。参加したら「りれきしょ」にスタンプをおしてもらいます。

- プログラム例：
- ひみつ探偵(仕事) / わたしのせかい(あなた・わたし・みんな)
 - コピタイル(伝える・伝わる) / 家族のサイズ(家族) / ドットタウン(dot)
 - かぞくのかぞく(なんだかうれしい) ※山田巨さんの作品 / キラモ(はかる?)
 - 音のカタチ(土・泥・ねんど) / しんぶんしりとり(つなげる・つながる)
 - △□のへや(○△□) / ウソのいきもの(ウソ?ホント?)
 - あなぶく(dot) ※福永照久さんの考えた遊び / せんのタイル(線) など

● 特別プログラム

○「せんのとりで」(線)
大きな空間いっぱい、みんなで「せんのとりで」をつくりまわす。
と き: 8月14日 14:00-16:00
ところ: チャレンジタワー 対象: 子どもと大人

● みんなであそぶプログラム

土・日曜日、祝日実施
14:00-14:30、15:00-15:30

家族や友達だけでなく、たくさんの人と一緒に遊べます。
○「わっとボール」(なんだかうれしい)
○「家族でバトル」(家族)
○「どろどろでなぞる」(土・泥・ねんど) など

● たべるあそぶプログラム

日曜日実施
11:00-12:00、14:00-15:00

食べることにそのものを感じながら楽しむプログラムです。
○「ミルミルミックス」(みんな・あそぶ!展)
○「豆道〜おからもち」(伝える・伝わる)
○「センペー」(線)

● じっくりプログラム

会期中の平日 14:00-15:00

スタッフと一緒にじっくり遊ぶプログラムです。毎日プログラムが変わります。※都合により実施しない日があります。
○プログラム例：
へんしん大仮面(あなた・わたし・みんな)
土であそぶ(土・泥・ねんど)
みつめてあそぶ(ネイチャー・ワンダーランド)
さわって伝える(伝える・伝わる)
数の顔写真(汗かくメディア) ※呂ひろしさんの作品 など

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター

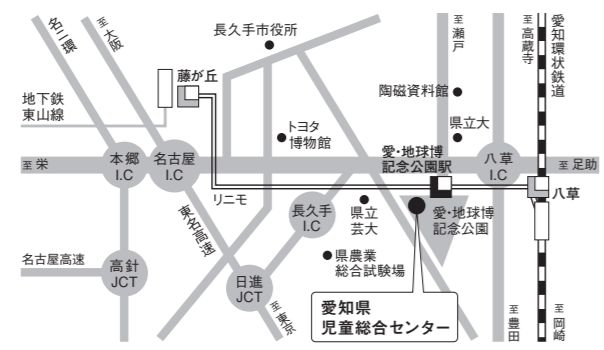


〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ岡乙1533-1
TEL 0561-63-1110
http://www.acc-aichi.org/

開館時間 = 9:00-17:00
入場料 = 中学生以下無料、その他300円

7月の休館日 = 2、9日 8月は無休
9月の休館日 = 3、10、18、24日

愛知県児童総合センターは「あそび」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきが実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具や遊びのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。



公共交通機関で…
地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
リニモ「愛・地球博記念公園駅」下車
車で…
東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



1996年7月に開館した愛知県児童総合センターは、子どもたちが自分の五感を力いっぱい働かせ感じるきっかけとなる遊びの開発に力を注ぎ、「あそび」の可能性を広げる試みに取り組んできました。「テーマを持つ」「不自由さが楽しい」「ムダからはじまる」「子どもも大人も対等」。私たちが「あそび」を考えるにあたり持ち続けている「こだわり」はすべて、一連の遊びに参加することで、今まで「あたりまえ」と思っていた物事に対する視点が変わるきっかけをつくるためのものです。

そうした考えから「自然」「はかる」「ウソ・ホント」「コミュニケーション」「うれしい気持ち」など、ごく身近なテーマから広がるイメージを元にした、オリジナルの遊びプログラムや、テーマにあわせた環境設定を、「特別」な「企画」として、実施・展開してきました。様々な視点から開発された遊びプログラムは16年間の、常に新しい発見や驚き、価値を伝える機会となり、多くのリピーターを生んできました。それらの遊びの企画を振り返り紹介する「みんな・あそぶ!展」をこれまで2度開催してきましたが、今夏、6年ぶりに企画を振り返る「みんな・あそぶ!展2006-2012」を開催します。

これまでの14にわたる「テーマ」を紹介するとともに、その中で人気のあったプログラムを中心に、新たな視点で再構成します。

みんなあそぶ!展

2006-2012

2012.7.21 | 土 | - 9.2 | 日 | 愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

開館時間: 9:00-17:00 会期中は休まず開館しています。入場料: 中学生以下無料、その他300円
主催: 愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)

【あそびのテーマの展示】6年間に企画した14のテーマをまとめて紹介します。
親子でたんけん「仕事って、なに?!」2006 / あなた・わたし・みんな 2007, 2011
親子でたんけん「伝える・伝わる?!」2007 / 家族 ●あそぶ! 2008 / あそび発見! ウソ?ホント? 2008, 2012
なんだかうれしい! 2008, 2011 / 親子であそぶ! 「土・泥・ねんど」2008
親子であそぶ「つなげる・つながる」2009 / ネイチャー・ワンダーランド 2009
○△□-カタチであそぶ- 2009 / 「はかる?!」これくらいってどれくらい 2010
dot・点…ここからはじまる… 2010 / あつまれ! 「線」のあそび 2011
汗かくメディア 2006-2012

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

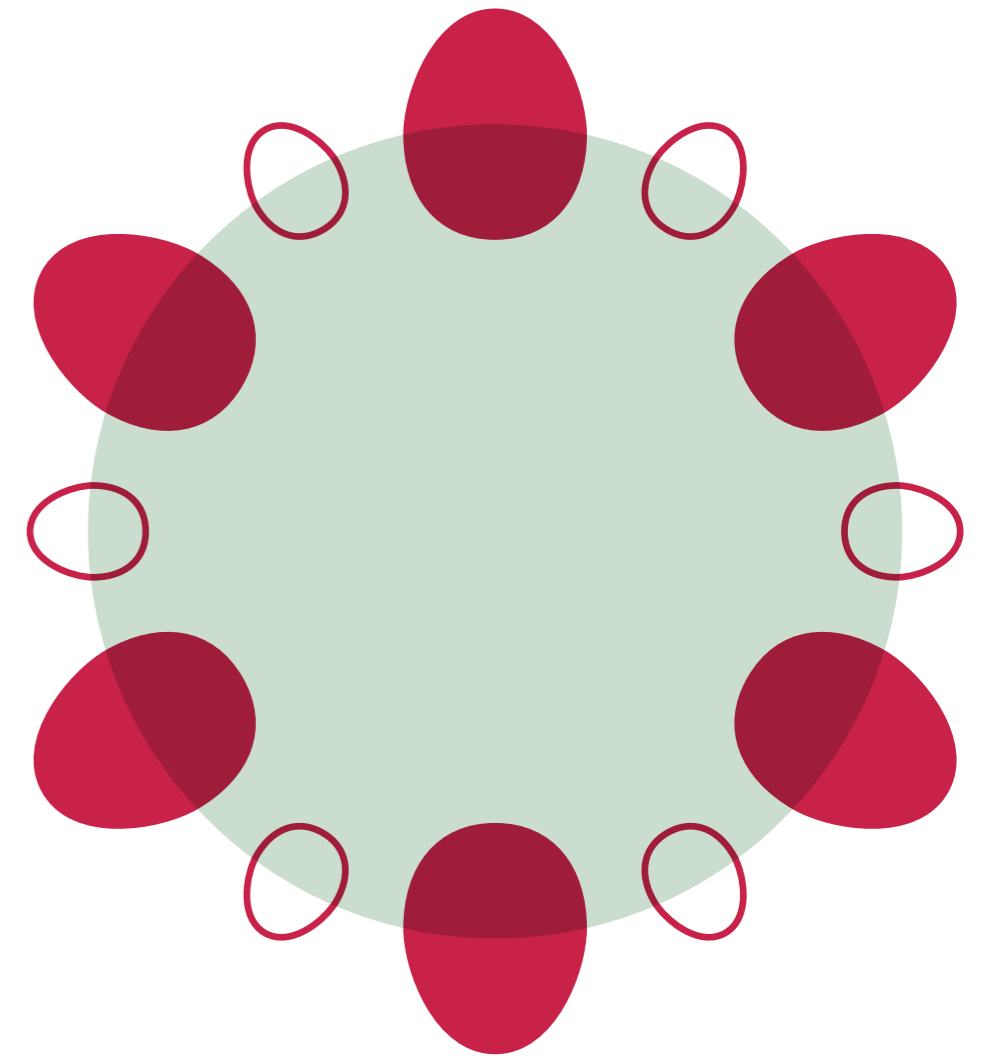
News Letter vol. 8

2012 夏

夏季特別企画
みんな・あそぶ!展
2006-2012

ACC
あいちこどもクリエイティブクラブ
あそび発見!ウソ?ホント?
子育てのおはなし 第8話

ACCのココがすき!
考え中
募集とお知らせ



ACCC あいちこども クリエイティブクラブ

愛知県児童総合センターでは、さまざまな遊びをとおして子どもたちの成長を支援しています。そのなかでも、あいちこどもクリエイティブクラブ(以下、Accc)は、小学生から高校生までいろいろな年齢の子どもと一緒に活動することで、普段とは違う状況の下、感じ、考え、体験し、創造性とコミュニケーションを深める機会をつくることを目的としています。今回は第1回目「土どろ・ウォーキング」の様子をご紹介します。



土どろ・ウォーキング

愛知県陶磁資料館と共同で企画した遊びです。センターを出発し、「ひみつの土さがし」をしながら愛知県陶磁資料館(以下、資料館)まで歩き、学芸員の方と一緒に作品を鑑賞しました。

2012年5月13日(日)

小学校1年生から5年生まで9名の子どもたちがあつまり、メンバーバッジをつけて出発しました。今回は特別に大人も一緒に参加です。



気になる場所で土を採取します。スコップで掘って、透明な筒に入れていきます。



黒っぽい土、キラキラした土、アスファルトの隅でみつけた土、粘土みたいな土、いろいろな土がありました。



どんな土を観察し、気がついたこと、みつけたことをみんなで話しながら進みます。



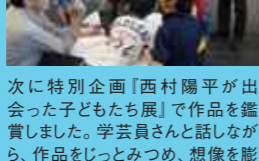
「ひみつの土さがし」の最後は、資料館のひみつの土場です。粘土のように粘り気がある土を全員で掘りました。



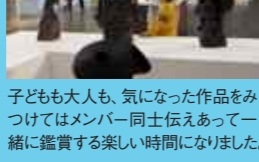
透明の筒にはこれまでの「ひみつの土さがし」の成果が。2.5kmの道程でたくさんの土がみつかりました。



次に特別企画「西村陽平が出会った子どもたち展」で作品を鑑賞しました。学芸員さんと話しながら、作品をじっくりとみつけ、想像を膨らませていきました。



子どもも大人も、気になった作品をみつけてはメンバー同士伝えあって一緒に鑑賞する楽しい時間になりました。



行きは2時間かかった道のりも、帰りは走って競争したりして30分ほどでセンターに到着。ACCC第1回目は無事に終了しました。

最初は緊張気味だったメンバーも、ウォーキングがはじまるとすぐに打ち解け、初めて出会ったとは思えないほど意気投合して遊びが進んでいきました。その中で、「土を探す」という簡単な遊びをとおして、子どもも大人も「見方」、「見え方」が変化していきました。作品鑑賞では、学芸員さんもびっくりする発見や、おもしろい見方が次々と出てきて、土をみて土を感じ、土でできた作品と出会うという今回の遊びを思いきり楽しむことができました。

ACCCでは、じっくりと取り組むことで、新しい自分を発見したり、メンバー同士、いろいろな人との関係をつくったりしていきます。2回目以降も新しいメンバーが増える予定です。ACCCの活動にご期待ください。

ACCCではメンバーを募集しています。

対象：小学生・中学生・高校生(ボランティアとして参加)
定員：各回10名程度 参加費：無料

申し込み方法
センター内、または 電話 0561-63-1110
メール accc@acc-aichi.org

参加者の「氏名」「学年」「郵便番号」「住所」「電話番号」「メールアドレス」をお知らせください。

- ・最初にプログラムに参加した段階でクラブのメンバーとして登録されます。
- ・登録は随時受け付けています。
- ・全日程に参加できなくてもメンバーとして登録できます。
- ・メンバーになるとプログラム情報をいち早くお届けします。
- ・第2回「あなをほる」のみ小学4年生以上対象です。ご了承ください。

ACCC 高校生・大学生・大人のボランティア募集

ACCCのメンバーと一緒に楽しんで、共感しながら現場を盛り上げてくれる、子どもの遊びをサポートするボランティアを募集しています。詳しくはセンター (tel 0561-63-1110) までお問い合わせください。

ACCC 今後の予定 (新たに遊びのプログラムが追加される場合もあります)

7/25(水)・26(木)	「あなをほる!」小学4年生から
9/22(土祝)	「汗かくメディアツアー」
11/24(土)・25(日)	「土を焼く」
12/8(土)・9(日)	「あそびをつくる!」①
2/16(土)	「あそびをつくる!」②



「あそび発見! ウソ? ホント?」では「ウソ」と「ホント」をテーマに、館内にあるいろいろなモノやコトを見つめなおす、たくさんの遊びを考えました。思わず笑ってしまう、誰かを楽しくさせる、びっくりしてしまう「ウソ」をついたり、「ウソ」みたいな「ホント」を見つけて遊んだり、言葉にするだけでなく「ウソ」をカタチにしてみたり、館内が「ウソ」と「ホント」でいっぱいになりました。



ウソのモリ

小さな「自分」の大冒険!? ありえない「ウソの世界」をつくります。



土の木

天井からつるしたロープにねんどうをつけて木をつくります。



かげにさわる?

さわれないのにさわると動く? (aru work in progress) 二宮諒さん



「あそび発見! ウソ? ホント?」は愛知県児童総合センター「春季特別企画」として実施しました。〔2012年3月17日〜5月6日〕

あそび発見! ウソ? ホント?

ウソ絵日記

とほうもない「大きなウソ」の絵日記をかきます。



へんしんファッション

体にまとった布にいろいろな映像が映し出されます。



かがみかがみかがみ

左が右で右が左で、自分が何人もあらわれては消える、かがみの中のウソの世界を楽しみます。 作品：山口真臣さん



ウソのききめ

足が速くなる、歌がうまくなる、思いを込めて「ウソのききめ」をつくります。



ウソのまち

ありえないヘンテコなまちをつなげてウソの世界をつくります。



ウソのかおりレー

子どもの顔になったり、大人の顔になったり、たくさんの「顔」で遊びます。 プログラム：山下明美さん

ウソ? ホント? の絵本

ホントかウソか、ウソをテーマにした不思議な話の絵本を集めました。

センターの中に本物の車を入れて、絵の具と筆を使って「ぬりなおし」をしてしまうウソのようなホントの遊びです。親子で一緒にわくわくどきどきしながら色を重ねていく様子がみられ、センター全体にこの不思議な、いつもとは違う特別な遊びの雰囲気広がっていきました。規格通り均一に塗装されることで商品価値を持つ車。一方で絵画の世界では画家の筆跡によって作品に独自性を与え、高い評価が与えられます。「ぬりなおし」をすることで、その価値をなくしていくと同時に、画家ゴッホの筆跡を模倣して色が重ねられ、車に唯一無二の価値が生まれていきます。今回のプログラムを提案した福永さんはそうした矛盾を、「あそび」のなかで目にみえる形にすることを考えました。



ぬりなおし

児童福祉週間の特別プログラムとして、アーティストの福永照久さんによるワークショップを5/3・4・5の3日間実施しました。



福永さんからルールと塗り方の説明を受けます。ゴッホの作品のポスターやタッチをクロスアップした写真をみて、ぐるぐるうねうねのタッチをまねます。

ほんとうに塗っていいの? 最初はちょっと緊張しながら、しだいに夢中になってぬりなおしていきます。

子育てのおはなし 第8話 臨床心理士 後藤かをり

時は味方

この間あるお母さんが言われました。「子育てって、いつになったら楽になるんだろう?」ごはんも、おムツもまだだすべてに手のかかる1歳半、それでもしたいことや行きたいところはあって目が離せません。お母さんが、こんな風のため息をつくのももったもんです。答えのない奥の深い問題に、改めて自身の子育てで多くのお母

さん方の話から「子育て」がふっと楽になった瞬間を思い起こしてみました。まず、初めて赤ん坊が5時間続けて眠ってくれた時。自分の体の疲れがほんの少し取れました。赤ん坊が「アクーン、アクー」と声をだし、掛け合いができた時。通じ合うことで楽になりました。私の顔を見て笑った時。これも、通じ合う喜びですね。子どもが保育園に行き、自分の時間がまとめでとれた時。自分を取り戻せた気がしました。子どもがYes、Noの意思表示をした時。相手のしたいことが明確にわかりました。ことばでやり取りができた時。「あ、日本語が通じるっていいなあ」と思いました。子どもが自分のしたいこと、母の思いとに折り合いをつけてくれた時。「ちょっと待っててね」を受け入れてくれたり、おもちゃを取りに来た相手に「一緒に遊ぼう」と言えたりした時。「あ、大人になっただなあ」と思いうれしくなりました。……あげていくときがありませんが、自分の体の疲れが楽になった時、2つめは、コミュニケーションがとれた時、3つ目は、子どもが周りを信頼し、自分と相手の間で折り合いをつけようとしてくれるようになった時、そしてすべてに共通することとして、子どもの存在や育ちを実感した時。子育てのしんどさは軽くなるような気がします。大きくなると、友達との関係や思春期の親離れ子離れなどその時々々のしんどさがあるし、何より病気の時の気持ちと体の辛さがあります。親としての責任など、ずっと通奏低音のように流れているものもあります。でも、毎日の世話や、親と子の楽しいばかりではないやり取りの中で、子どもは絶え間なく成長していきます。「しんどい時期が子育ての醍醐味」なんて、過ぎてしまったから言えるのかもかもしれません。しんどい時はいつまでもは続かない。手を抜き、休みながら、「あ、しんど。でも今日こんな可愛いことがあった、こんな楽しいことがあった」「こんなに疲れちゃった。でもそれにもかわらず子どもは日々成長している」と、喜びや小さな成長を同時に探してみてください。時は味方です。

ACCの ココがすき!

児童福祉週間特別プログラム 「家族のうれしい顔」写真募集に参加した家族にインタビュー!

掲載写真は応募されたものを使用しています。



木のプール。 佐藤あかりちゃん
外がよく見えて光がいっぱい入るところ。 佐藤弓子さん
みんな楽しそうでにぎやかなところ。 佐藤淳さん(天白区)



地下通路と屋上。藤本ももちゃん
ぜんぶ楽しかった。藤本ののちゃん
室内で安全なので、安心して子どもを遊ばせられるところ。写真を撮るのが楽しかった。 藤本政美さん
親も安心してゆっくりやすめる場所で、子どもたちみんなが楽しい笑顔な場所。 藤本信さん(大阪市)

考え中

これからセンターでしようと思っていることを少しだけ公開!

0歳からの小さい子どもが思いっきり遊べるあそび
小学高学年以上の子どもが主体になって遊べるあそび
を考え中です!

募集とお知らせ

移動児童館・ゆめたま号 7月~10月の開催地決定

児童総合センターの遊びを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ遊び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。遊びをとおして、たくさんの出会いを楽しみにしています。



ゆめたま号

- 開催地
7/31(火) 清須市/清洲児童館
8/3(金) 春日井市/交通児童遊園
8/9(木) 蟹江町/学戸児童館
8/23(木) 蒲都市/がまごり児童館
8/29(水) 尾張旭市/本地ヶ原児童館
9/4(火) 刈谷市/富士松児童館
9/20(木) 西尾市/子育て支援センターつばみ
10/13(土) 東海市/名和東児童館
10/18(木) 一宮市/西成児童館
※参加につきましては、各施設へお問い合わせください。

親子であそぶ トコトコプログラム

感覚的な遊びを中心に、親にとっては子どもの新しい姿を発見すること、子どもにとっては素材そのものに出会い、思い切り遊びます。「大人がたのしいと子どもはうれしい!」を言葉に、大人も一緒に遊びをたっぷり楽しむプログラムです。



えのぐであそぶ

問合せ
愛知県児童総合センター
tel 0561-63-1110
http://www.acc-aichi.org/
※プログラムは予告なく変更することがありますので、詳しくHPをご確認ください。